

2014年労働政策研究会議報告

●会議メインテーマ

正社員の多元化をめぐる課題

日本の労働市場における正社員といわゆる非正規社員の「二極化」に伴う様々な問題が指摘され、働き方の多元化の議論が活発化している。雇用保障・処遇の安定性と働き方の高い拘束性とがセットで提供される正社員の働き方の多元化を進め、正社員といわゆる非正規社員の間に中間的な働き方を創出することにより、いわゆる非正規社員から正社員に転換が容易になる、正社員のワーク・ライフ・バランスの実現に資する、といった政策効果が期待されている。しかし、働き方の選択肢を増やすことと正社員が享受してきた安定性とは、トレード・オフになることから、特に正社員の「安定性」をどこまで譲歩できるのか、という点をめぐって労使の意見は収斂していないのが現状である。

現状の雇用の二極化の状況から多様な働き方が選択できる構造への転換が必要であることは、多くの人の同意を得られるであろう。もちろんこれまでも、勤務地や職種を限定して働く雇用区分が存在してきたが、従来の雇用区分の設定にあたり、現在の「正社員の多

元化」の議論と問題意識が共有されていたとは言い難い。そのために、現状の正社員の雇用区分のあり方そのものも含めて、「正社員の多元化」について議論を行うことが求められる。

今回の労働政策研究会議では、正社員の多元化が、現状の雇用問題を解決して今後の社会構造の変化に対応した雇用の受け皿となり得るのか、そのためにはどのような課題があり、それをどのように解決すればよいのか、について、労使が抱えている課題を念頭において議論を深めることとした。

なお、本特別号は2014年労働政策研究会議準備委員会の責任編集によるもので、掲載論文及び要旨は後に報告者による修正を経たものである。

2014年労働政策研究会議準備委員会委員長
武石 恵美子（法政大学教授）

6月28日

〈準備委員長挨拶〉

武石 恵美子（法政大学キャリアデザイン学部）

自由論題セッション

○第1分科会（労働政策，ワークルール）

〈座長〉

大内 伸哉（神戸大学大学院法学研究科）

〈報告者〉

(1) 梅崎 修（法政大学キャリアデザイン学部）

「大学生の労働組合認識とワークルール知識が就職活動に与える影響」

(2) 金 明 中（ニッセイ基礎研究所）「韓国に

おける教育事情と若者雇用を取り巻く現状と課題——教育から労働市場進入前後における現状に対する考察」

(3) 岩田 克彦（職業能力開発総合大学校）「日本における人材育成の主要課題と政府の役割」

(4) 田中 恵子（法政大学大学院）「母子自立支援員から見た母子家庭の母の経済的自立」

○第2分科会（労働市場，賃金）

〈座長〉

川口 大司（一橋大学大学院経済学研究科）

〈報告者〉

(1) 西村 健（京都大学大学院）「プロフェッショナルは自身の専門能力についてどれほど汎用性があると感じているのか？」

(2) 土居 雅弘（同志社大学大学院）「新卒採用における職場マッチング・職務適性——中小企業に着目して」

(3) 荒木 祥太（一橋大学大学院）「若年者就業率における賃金弾力性の推定」

(4) 孫 亜 文（一橋大学大学院）「結婚プレミアム——KHPSを用いた再検証」

○第3分科会（職場とキャリア形成）

〈座長〉

荻野 勝彦（トヨタ自動車株式会社）

〈報告者〉

(1) 山崎 雅夫（法政大学大学院）「卓越したベテラン技術者のキャリア形成——建設業界で働く10人へのインタビュー調査結果の分析」

(2) 首藤 若菜（立教大学経済学部）「グローバル化と労使関係——ドイツと日本の自動車産業を対象に」

(3) 関家 ちさと（学習院大学大学院）「企業内養成訓練の日仏比較——日本型は有効か」

(4) 山崎 正枝（法政大学大学院）「社員の定着率を高める採用と研修——地方の自動車ディーラーの事例」

○第4分科会（働き方，職場管理）

〈座長〉

武石 恵美子（法政大学キャリアデザイン学部）

〈報告者〉

(1) 馬 欣欣（京都大学大学院薬学研究科）「母親の社会進出が子供の健康を損なうのか——ふたり親世帯と母子世帯の比較」

(2) 戸田 淳仁（リクルートワークス研究所）「限定正社員の実態——賃金，満足度，転職希望」

(3) 大木 栄一（玉川大学経営学部）「60歳代前半層（正社員・継続雇用者）に対する管理職の評価行動の特質と課題——「現役（59歳）正社員」との比較を通して」

(4) 高村 静（東京大学学際情報学府）「働く人の公平感を高める要因の分析」

パネルディスカッション

「正社員の多元化をめぐる課題」

〈司会〉

武石 恵美子（法政大学キャリアデザイン学部）

〈パネリスト〉

(1) 池田 悠（北海道大学大学院法学研究科）「正社員の多元化をめぐる課題——労働法の視点から」

(2) 神林 龍（一橋大学経済研究所）「正社員の多元化を巡る同床異夢——労働条件のコミットメントとキャリアのコミットメント」

(3) 平野 光俊（神戸大学大学院経営学研究科）「労働契約法改正の『意図せざる結果』の行方——小売業パート従業員の分配的公正感を手がかりとして」

(4) 佐野 嘉秀（法政大学経営学部）「正社員のキャリア志向とキャリア——多様化の現状と正社員区分の多様化」

2014 年労働政策研究会議準備委員会

準備委員長	武石恵美子	法政大学キャリアデザイン学部教授
準備委員	大内 伸哉	神戸大学大学院法学研究科教授
準備委員	萩野 勝彦	トヨタ自動車株式会社渉外部担当部長
準備委員	川口 大司	一橋大学大学院経済学研究科教授
アドバイザー	仁田 道夫	日本労使関係研究協会会長